



 **TOPCERTIFIER**
www.topcertifier.com

サービス方法論
ISO 22000:2018
食品安全管理
システム (FSMS)

ISO 22000:2018 の概要

ISO 22000:2018 - 食品安全管理システムには一連の国際規格が含まれます。特に効果的な食品安全管理に焦点を当てています。安全でない食品はさまざまな健康をもたらし、リスクと ISO 22000:2018 - 食品安全マネジメント システム規格が制定されました。食品の輸出および輸出を保証する国際基準を作成するために開発されました。地理的境界を越えて輸入されたものは安全に使用でき、また、

- 顧客および適用される法規制を満たす安全な食品と製品およびサービスを提供する。規制要件
- 目的に関連するリスクへの対処
- 指定された FSMS 要件への適合

キックオフ

キックオフ ミーティングは、プロジェクトの実行に向けたコミュニケーションと計画を立てるための重要なツールです。障害を最小限に抑え、計画された時間とコスト内でプロジェクトを完了します。キックオフミーティングの議題は次のとおりです。

- プロジェクト計画のディスカッション - これには、責任と責任についてのディスカッションが含まれます。利害関係者。プロジェクトのマイルストーンと成果物
- サービスの範囲と認証の範囲
- 法的および規制上の要件

コアチームの創設

- FSMSリーダーの任命
- 食品安全委員会の任命
- 内部監査人の任命

ギャップ分析

このフェーズでは、ギャップ分析を実施して、現在の実践がどれだけ当てはまるかを確認します。要件に沿っています。あなたの現在の実践は、次の4つの基準に照らして検証されます基準。

- ISO 22000:2018 規格要件
- 法律、法定、規制上の要件
- クライアントの要件
- 内部ポリシーと手順

この分析の結果は、ギャップ分析レポートの形式で表示されます。このレポートは機能しますプロジェクトのリマインダーのアクション アイテムのリストとして。

FSMS 認識トレーニング

FSMS 意識向上トレーニングは、組織の従業員に対して実施されます。トレーニング このセッションは、従業員が知識を獲得し、ISO 22000:2018 の概念を理解できるように支援することを目的としています。食品の安全性と危険性のない作業の達成に向けてプロセスと実践を調整します。環境。スタッフがトレーニングを受けていれば、考え、行動し、貢献できるようになります。目標を達成すること。

食品危険性の特定 およびリスク評価

リスク管理手順は文書化され、リスク管理の参考として使用されます。すべての部門責任者と協議してリスクを特定しました。当社は ISO 31000 技術を使用して特定します。特定されたリスクを文書化し、優先順位を付け、定量化します。このステップでは、ハザードワークシートを作成します。適切な緩和計画は、危険管理の階層構造 (リスク) を使用して特定されます。管理) リスクレベル、重大度、可能性に基づいて。そのような行動から得られる結果は、計算、記録、評価、文書化されます。

文書化

当社の専門家が、ポリシー、プロセス、SOP、作業指示書、および必要な記録をリストアップします。ISO 22000:2018 に従って定義および文書化されています。各部署と協議し、機能責任者は必要な文書を作成します。これにSOPが続きます。チームが情報を操作して記録するために使用できる記録テンプレート。

コントロールを確立する

ポリシー、プロセス、SOP が文書化され、収集される記録のリストが完成したらリストに記載されており、担当者が特定され、そのような活動について訓練を受けている場合、そのようなプロセスの効率を運用、監視、レビューすることです。


内部監査人研修

ISO 22000:2018 内部監査人 (IA) トレーニングは、特定された担当者に提供されます。このトレーニングでは、そのような担当者が IA の必要性を分析し、IA を計画およびスケジュールし、準備できるようになります。チェックリストを監査し、IAを実施し、観察結果を文書化して上層部に報告する 管理。

内部監査

当社の専門家が、御社の内部監査チームによる内部監査の実施を監督します。これ内部監査は、システム内にまだ存在するギャップを特定し、そのレベルを実証します。認証監査に直面する準備ができています。この監査は組織に次の機会を与えます。認証監査に進む前に、すべての不適合を特定して修正してください。


根本的な原因 分析 (RCA) および是正措置




内部監査、顧客または第三者の監査中に特定されたすべての不適合、またはリスクとハザードの特定、食品安全検査、毎日のウォークスルーおよびその他情報源をリストする必要があります。最適な修正と是正措置が実施され、このような措置の有効性は、是正措置報告書 (CAR) を通じて文書化され、レビューされます。当社の専門家が貴社のチームに同行し、プロセスをガイドします。

マネジメントレビュー ミーティング (MRM)

MRM は、すべての FSMS 関係者が予定された間隔で集まり、レビューを行う機会です。以下の議題について話し合い、行動を計画します。

- 
- 危険の特定とリスク評価
 - PRP および危険管理計画に関連する検証活動
 - あらゆる情報源からの監査結果と不適合。未解決の項目を解決するためのアクションプラン。
 - 事故、事件、ニアミスのシナリオ
 - システムの改善
 - リソースとトレーニングが必要
 - システムに必要な改善と変更の機会

認定審査: ステージ 1



準備レベルが適切なレベルに達すると、認定プロセスが開始されます。が始まります。認証機関 (CB) の任命された監査人は、次の方法で準備状況を検証します。ステージ 1 監査。これには、監査人がポリシー、プロセス、SOP、危険性、重要性をレビューすることが含まれます。運用記録、IA および MRM 記録。CB の期待から大きく逸脱すると、この時点で必要な修正を行うよう通知されます。これにより、次のような可能性が減ります。認証監査中の重大な不適合。TOP 認証者はすべての者と連絡を取り合います。利害関係者と連携し、監査が円滑に完了するよう監督します。

認定審査: ステージ 2

ステージ 1 監査が正常に完了すると、監査人は詳細な監査を開始します。組織の QMS システムの実践と文書化。TOPCertifier は次のようにします。監査の要件について従業員を訓練し、自信を持って監査に臨むことができるようにします。私たちの専門家が立ち会い、監査を円滑に進めるために必要なあらゆる手段を支援します。TOPCertifier は、監査中に特定された不適合を解決するために貴社のチームを支援します。認証監査が正常に完了すると、TOPCertifier はすべての関係者と連絡を取り合います。最終的な証明書の草案を作成し、承認し、発行します。

コンプライアンスの継続

TOPCertifier は、組織のコンプライアンスへの取り組みの一部となり、定期的なコンプライアンス遵守を支援します。必要なトレーニング、システムのサポートと更新、内部および外部の監査の間隔、そして定期的に認定を更新します。